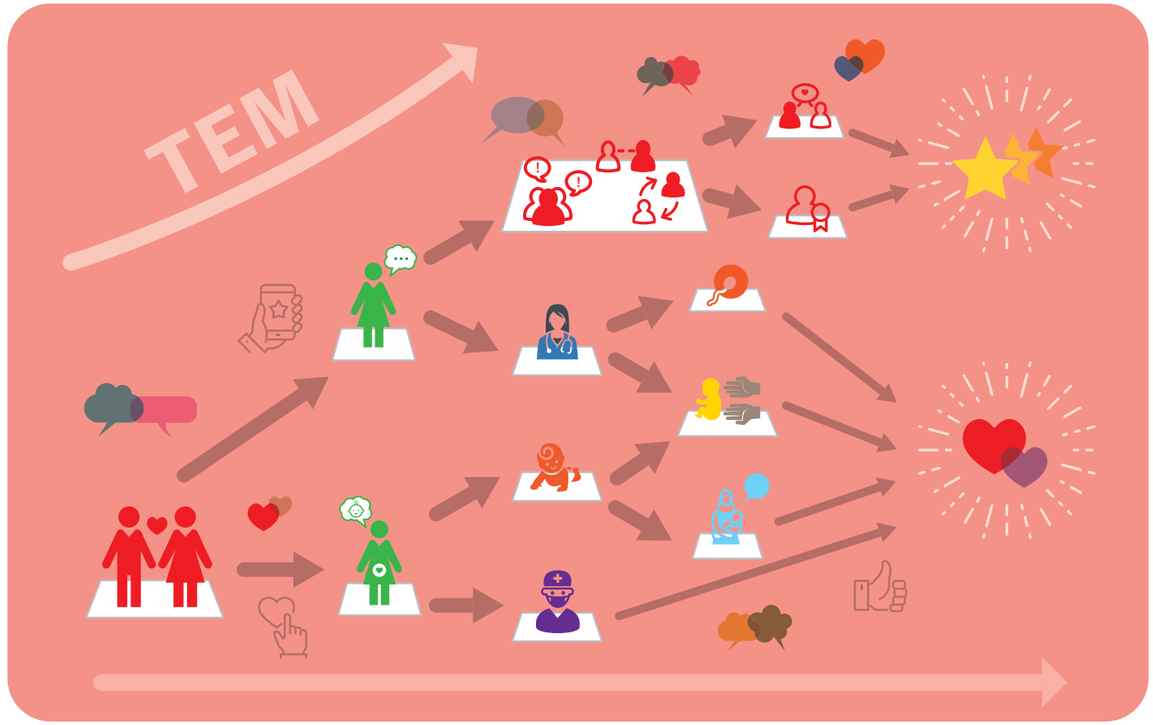
ものづくり質的研究センター

Center for MONODZUKURI Qualitative Research



ものづくりに「質的研究」のアプローチを生かし、革新的なビジネス、製品・サービスの創出に貢献する

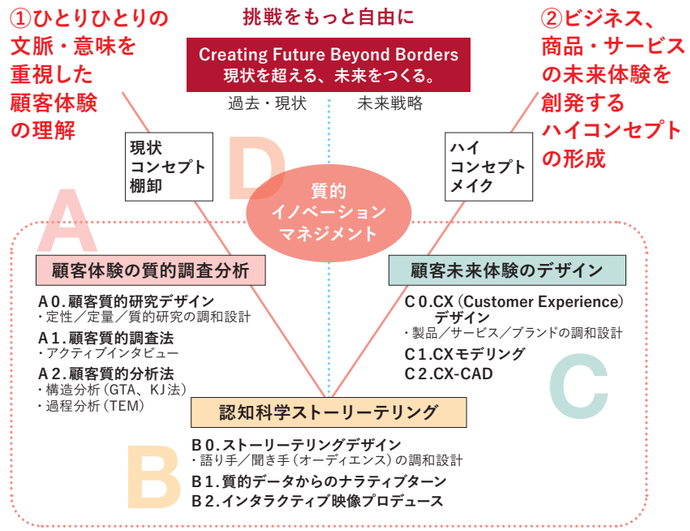
「もの」志向から「こと」志向へ、また「Supply Push」から「Demand Pull」へとものづくりの潮流が変化する中、企業のものづくりに「質的研究法」のアプローチを生かし、こうした社会ニーズに応えることを目的に、2019年8月、ものづくり質的研究センターを設立しました。人間側の視点として「こころ」を扱うことで、ものづくりに新たな知見を見出すとともに、新学術領域を創成することを意図しています。

本センターの特長を成すのが、「TEM（複線径路等至性モデリング）」という質的研究手法です。「TEM」は、人間の行為や判断を時間軸と展望の幅による二次元で表現し、その過程にある促進要因や妨害要因とともに図示する研究法です。一般的なマーケティングリサーチでは、「買う」「買わない」を従属変数に、個人的な要因を独立変数に設定して購買に影響した要因を探ります。一方「TEM」を通じて明らかにするのは、「買う」「買わない」ではなく、そのものと共にある生活・人生に対する「願い」です。インタビューなどの対話を繰り返して、個々の目指す目標と時間経過に伴う価値の変化を丁寧に聴き取ります。そして、二次元でストーリーを分析することを通じてより深く顧客ひとりひとりの「願い」を発掘し、顧客に寄り添うものづくりを可能にします。

まず研究においては、ひとりひとりの文脈・意味を理解した顧客体験から、ビジネス、商品・サービスの未知体験を創発するハイコンセプトの形成までを実現するために、「顧客質的研究」、「認知科学ストーリーテリング研究」、「未来体験デザイン研究」、「質的イノベーションマネジメント研究」という4つの新しいアクションを開拓します。心理学、映像学、情報学、経営学の学融合で新しい学術的知見を切り拓きます。

また多様な業界から産官学が参画してコンソーシアム型共同研究を実施し、それぞれが抱える課題を学融的に解決し、新しいビジネス・製品・サービスの創出に貢献します。プロジェクト・ベースド・ラーニングでの研究成果をまとめ、専門講座やワークショップ、研究成果発表などを開催します。さらには研究成果を生かして教育研修講座のエッセンスを開発し、新時代の製品・サービスづくりを担う人材育成にも尽力します。

コンソーシアムによる産業界との強い連携を礎として人の「こころ」を扱う人間科学の方法論を根幹に置き、産官学が集う「知の必須通過点」となることで、イノベーティブな製品とサービスの創出と人材育成に貢献していきます。



（A）第1アクションは、過去・現在の環境認識のため、既存商品サービスのコンセプトの棚卸を行う。その課題は、ひとりひとりの文脈・意味を重視した顧客体験の理解である。この課題解決のため、「A顧客質的研究」という新研究分野を提案する。

（B）第2アクションは、ひとりひとりの文脈・意味のデータ群から、コンセプトの創造と伝達のため、多様なストーリー仕立てに再編することである。その際の課題は、ひとりひとりの文脈・意味のデータ群とコンセプトの関係認知科学的な考察と理解である。この課題解決のため、「B認知科学ストーリーテリング研究」という新研究分野を提案する。

（C）第3アクションは、6つのプロセス（物語・共感・デザイン・調和・生きがい・遊び心）を基調としたハイコンセプトメイクを行う。その際の課題は、ビジネス、商品サービスの未来体験を創発するハイコンセプトの形成方法である。この課題解決のため、「C未来体験デザイン研究」という新研究分野を提案する。

（D）第4アクションは、上記A、B、Cの全体的なイノベーションマネジメントである。その際の課題は、未来環境におけるビジネスモデルの形成方法であり、この課題解決のため、「D質的イノベーションマネジメント研究」という新研究分野を提案する。

研究：大学・研究機関の方へ

本センターは、質的研究法であるTEM（複線径路等至性モデリング）を基盤に、商品開発という実践を見据えた研究をするセンターです。心理学・映像学・情報理工学・経営学の融合で新しいものづくりのプラットフォームを目指します。

教育：学生・院生の皆さんへ

心理学と経営（マネジメント）の接点に興味がある方、映像や情報を取り入れて商品開発に挑戦したい学生・院生の皆さんの参加を待っています。今、始まったばかりのアプローチの先駆者として時代を切り拓いていきませんか？

産学連携：企業・財団等の方へ

消費者の皆さんがどのような願いをもって生活し、ある製品の購買に何を求めているのかを知ることによる商品開発、それをCG（コンピューターグラフィックス）やVR（仮想現実）・MR（拡張現実）で効果的に表現することによる新しいものづくり。その可能性を見つける仲間になってください。

主な研究テーマ

- 心理学・映像学・情報理工学・経営学の融合
- 複線径路等至性モデリング
- ライフシフト時代における新しいHuman Resource(HR)のあり方
- インタラクティブCG技術を用いた質的調査法の拡張
- インタラクティブXRシステムの研究
- 未来生活カウンセリング技法の研究
- 未来生活価値創造プロセスの開発と社会実装の研究
- メタバース不登校支援／居場所創出

センター長：サトウタツヤ（総合心理学部 教授）
主な研究拠点：大阪いばらきキャンパス、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス
お問い合わせ：立命館大学研究部OICリサーチオフィス TEL：072-665-2570 FAX：072-665-2579 ✉：mdz.ritsumei@gmail.com
http://www.ritsumei.ac.jp/research/mdz/